

長年の農業貢献に表彰状

県農林水産業功労者に村上 浩さん(田原)

12月19日、長年にわたり農林水産業に従事し優れた功績を残した人をたたえる「熊本県農林水産業功労者」の表彰式が県庁で行われ、本町から田原の村上浩さんが表彰を受けました。

村上さんは、昭和34年からビニールハウスによる冬キュウリの栽培を始め、42年からはスイカ栽培に着手。早期出荷を実現し、県内でも有数のスイカ産地として発展していく礎を築きました。旧津森農協の園芸部長に就任後は、育苗の一元化や品質確保、増産体制の確立に努め産地拡大に貢献しました。

村上さんは「受賞は多くの方々のおかげです。思い出になります」と喜びを語っていました。



受賞した村上浩さん(中央)と妻・トミ子さん(左)



優勝を飾った飯野少年野球クラブ

全員野球で頂点に

軟式野球大会で飯野少年野球クラブ

11月24日から12月1日にかけて、県営八代野球場を主会場に行われた第9回松中信彦三冠王記念旗学童野球大会で、飯野少年野球クラブが見事優勝を飾りました。

飯野少年野球クラブは、町内の小学1～6年生23人で構成するチーム。1～3回戦、準決勝を順当に勝ち進み、決勝は熊本市の託麻フェニックスと対戦しました。試合は、初回と3回で4得点を先制した同クラブが相手の反撃を3点に抑え、5対3で逃げ切りました。

監督の米満博海さん(小池秋永)は、「持ち味は『全員野球』。みんながねばり強く頑張ってくれた」と大会を振り返っていました。

ボランティア活動を地域に紹介し、住民参加のボランティアの輪を広げるため、社会福祉協議会が主催した「ボランティアまつり」が11月18日、町民体育館で開催され約500人の観客を集めました。会場では、バザーや介護予防、伝承遊び、EMだんご作りなど、10のコーナーが設けられ、ステージでは町内の小・中学生のボランティア体験発表や、

リーファンサンブルキヤラバンによるコンサート、手話ダンスなどでにぎわいました。毎年人気の炊き出しカレーはボランティア米を使用したもので、1杯100円。昼食時、蛇の列ができました。この日のバザーや炊き出しカレーの収益金は「阿蘇復興支援金」として全額、阿蘇市社会福祉協議会へ寄付されました。



今年も人気の炊き出しカレー

収益金は阿蘇市へ寄付

町民体育館でボランティアまつり